

## 第32回 大阪市都市景観委員会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年2月7日（月）午前9時30分～11時30分
- 2 開催場所 大阪市役所P1階 会議室
- 3 出席者  
(委員) 増田 委員長、澤木 委員長職務代理者、阿部 委員、岩田 委員、木多 委員、北野 委員、小伊藤 委員、白土 委員、高崎 委員、福田 委員、松村 委員  
(大阪市) 山本 市民局市民部長 花房 計画調整局建築指導部長、酒井 都市整備局企画部長、藪内 港湾局臨海地域活性化室長、山野 交通局鉄道事業本部建築担当部長、久村 ゆとりみどり振興局緑化推進部長兼計画担当課長、正垣 建設局総務部中長期計画担当課長代理、橋本 建設局管理部路政担当課長、植木 教育委員会事務局生涯学習部研究主幹  
(事務局) 川田 計画部長、佐々木 都市デザイン担当課長代理、小野 担当係長、梅田 担当係長、山本 係員

### 4 議題

西区・港区・東成区の都市景観資源の審査について

### 5 議事要旨

#### (1) 会議の公開について

増田委員長より、運営要綱2(1)アの3)に該当するため、会議を非公開とする報告があった。

#### (2) 西区・港区・東成区の都市景観資源の審査について

事務局より西区・港区・東成区における都市景観資源について、前回の都市景観委員会での審議内容、候補から除外する理由の整理、登録までの流れ及び本日の審査の流れの説明を行った。

(委員からの主なご意見ご質問及び事務局の回答)

○この赤レンガ倉庫以外にも大きいものがあるのか。また活用方策もあれば、報告いただきたい。

⇒これだけのレンガが残っているのは、ここが最大ではないかと思う。

○資源については、登録が進んできたが、まち歩きとか、何か活発にされているのか。

⇒景観整備機構である大阪府建築士事務所協会が、登録してすぐに、まち歩きをしてくれている。また北区では都市景観資源を広報誌で取り上げて、記事にしている。

○登録をしている意味があると思うので、極力有効に使っていただきたい。

○地元の人たちが熱意を込めて守っている古い家など、地元とか持ち主が大事にして景観

を守ろうという意欲みたいなものがあるものは選びたい。アドプトリバーはまさにそうなので、対象にしてもいいと思う。

○19番岩崎運河の橋梁と27番の岩崎運河は、一体ということで統合させていただく。

○ゼロメートル地帯の大阪を守っている水門としては、安治川水門と同等に意味がある。

○陸から見るのではなく、船から見るのがおもしろくて、道頓堀川の親水空間が確保できているということで、積極的にPRしたほうがいい。

○安治川は、地元の方が大切にしたい思いをすごく感じた。夕日のスポットとしてもそこしか見れないというものがあるので、今後の可能性に期待を込めた。

○昭和初期の街並み（血と骨の舞台）は、何か特に地元で盛り上がりみたいなものがあるのか。

⇒まち歩きのコースに既になっている。ガイドも地元の方がやられるので、松下幸之助の碑とセットでよくされている。

○火袋式道標は、こういう形の道標はすごく珍しいということと、大阪の歴史を語る上で、この道標は意味があると感じた。

○深江の建築物、史跡群みたいなものが出てくると、ステッカーかプレートなどが欲しいと思う。区の行事としてホープでやっているようなステッカーを貼っていくようなことはできないか。景観まちづくり活動などにつながっていったらというような思いもあるので、群のような場合に、地元の方々の活動を中心にしながら、行政が支援していくという形で、うまくステッカー化なりを検討いただきたい。

（まとめ）

委員による投票及び審議の結果、27物件について都市景観資源の最終候補とすることとし、所有者等の意向の確認等、登録に向けた手続きを行うこととなった。